

带状疱疹ワクチンの比較表



	生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	不活化ワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)
助成回数	1回のみ	2回まで
助成の上限度	5,000円/回	15,000円/回
接種回数	1回	2か月間隔で2回 ※通常、1回目接種から2か月間隔をあけて2回目の接種を行う。2か月を超えた場合は6か月後までに2回目の接種を行う。
接種方法	皮下接種	筋肉内接種
効果	<ul style="list-style-type: none"> ●持続効果 5年程度 ※長期予防効果 1年目：67.5% 2年目：47.2% 5年目：37.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ●持続効果 10年程度 ※長期予防効果 10年後の発症予防は73.2%。
副反応	<ul style="list-style-type: none"> ●副反応の発症率は、 不活化ワクチンより低い ●頻度 10%以上の副反応 発赤(44.0%)、掻痒感(27.4%) 熱感(18.5%)、腫脹(17.0%) 疼痛(14.7%)、硬結(13.5%) ●重大な副反応(頻度不明) アナフィラキシー、無菌性髄膜炎 血小板減少性紫斑病 	<ul style="list-style-type: none"> ●副反応の発症が高い ●頻度 10%以上の副反応 疼痛(79.1%)、発赤(37.4%) 筋肉痛(36.9%)、疲労(34.6%) 頭痛(28.3%)、腫脹(24.2%) 悪寒(21.4%)、発熱(16.7%) 胃腸症状(12.0%) ●重大な副反応(頻度不明) ショック、アナフィラキシー
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ●他の生ワクチンとは、接種前後27日以上間隔が必要です。 ●免疫不全、免疫抑制状態の方は接種できません。 ●妊娠中の方は接種できません。接種後2か月は、妊娠を避ける必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●通常、1回目の接種から2か月間隔をあけて、2回目の接種を行う。2か月を超えた場合であっても6か月後までに2回目の接種を行う。 ●1回目と2回目の間隔が6か月を経過した場合は、助成の対象となりません。